1953年6月16日　第三種郵便物認可

2015年 6 月29日（月）　2945号　隔週月曜日発行

民主青年新聞

●ホームページ　www.dylj.or.jp　●Eメール　minsin@dylj.or.jp

見どころ

若者憲法集会特集号

戦争させない　憲法守る　私たちの手で（6、7面）

全体会・シンポジウム　（5面）

止めろ戦争法案

PEACE NOT WAR

守れ憲法

▶「戦争立法反対！渋谷デモ」では、沿道の青年が飛び入りで参加する場面も

若者憲法集会とデモ

YOUTH AGAINST WAR

「戦争法案反対」の世論が盛り上がる中、安倍政権に対して青年が大きな圧力をかけました。14日、東京都内で開かれた「声をあげよう私たちの命と自由のために　若者憲法集会」に1300人、その後の「戦争立法反対！渋谷デモ」には3500人が参加しました。いずれも昨年を上回る大成功を収めました。「戦争法案を止める」と、一人ひとりの思いや表現を大事にした青年の共同が急速に広がっています。

（日隈広志記者）

「戦争法案」反対コールに込めて

林立する手作りのプラカードとダンスミュージックに乗った「戦争法案絶対反対」「安倍政権は憲法守れ」などのコール。「戦争法案」に反対するデモは渋谷の街を席巻しました。北海道から参加した宮内史織さん（22）は「友だちや友だちの家族に自衛官がいる。その人たちを戦場に送る『戦争法案』を廃案にしたい」と話します。参加者はそれぞれの思いをコールに込めました。

デモのスピーチに立った沖縄出身の元山仁士郎さん（大学4年）は「俺の原動力になっているおじいとおばあの話」を紹介しました。70年前の6月14日は十数万人の県民が殺された沖縄戦のさなかでした。当時18歳で兵士に徴用（ちょうよう）されていた元山さんの祖父は、亡くなった友人の横で空腹に耐えながら過ごし、当時14歳だった祖母も家族と兵に空腹の中、山に隠れていたといいます。祖父母の「こんなの思い出したくもないよ。何でまた、あんな思いをしないといけないんだ」という言葉に触れ、元山さんは「戦争法案反対」をうったえました。「私たちはもう一度、あらゆる戦争体験者の言葉に耳を傾け、思いをはせ、そして声を上げていかなければならないと思います。戦争は二度とくり返してはいけないんだ」

デモの参加者からは憲法が壊される危機感や憲法を守りたい思いが出されました。SEALDs（シールズ＝自由と民主主義のための学生緊急行動）の女性（大学2年）は「憲法9条があったから日本は70年間戦争をしてこなかった。その歴史を私たちの代で終わらせちゃいけない。ずっと戦争をしない日本を続けたい」と話します。長野から参加した男性（29）は「憲法がここまで生きてきたのは半端でない数の人たちのがんばりがあったから。そういう歴史を壊させない」と言います。

安倍政権追い詰める全国の運動

「元気をたくさんもらった」「自分たちに力があることを感じた。声を起こしていこうという活力が湧いた」―。若者憲法集会の全体会は、全国の青年の熱気で満ちていました。シンポジウムでは元自衛隊のレンジャー隊員だった井筒高雄（いづつたかお）さんと国際人権NGO「ヒューマンライツ・ナウ」事務局長で弁護士の伊藤和子さんが講演し、安倍政権が進める「戦争する国づくり」の危険性と憲法の持つ力を浮き彫りにしました。

集会の最後には「戦争法案」に反対し、憲法が生きる未来をつくろうというアピールを採択しました。

全体会の「運動の交流」では沖縄、福島、首都圏青年ユニオン、大阪、広島、山梨の青年が昨年の集会から一年間のとりくみを報告。青年が各地で安倍政権を追い詰める勢いを増してきたことを示しました。

沖縄・辺野古（へのこ）への米軍新基地建設の反対運動に参加する吉居俊平さん（大学2年）は自分にできることから行動してきたことを話しました。最初は少数のとりくみだった抗議が現在、安倍政権とのたたかい」と立ち上がる市民が広がったと話しました。「次は安倍政権による民主主義と生活の破壊を止める番。全国の声と力で憲法改正と戦争法案を必ず阻止しよう」と呼びかけました。

交流を聞いて愛知の天久奈津美さん（24）は「民主主義を生かして食い止めている実績と、がんばっている人の話を聞けて胸がすく思いがした。今までにない青年の活動が巻き起こっている」と話します。

宮武奈緒さん（29）ら滋賀の青年は1030筆の「命を守る宣言署名」を集めて集会に参加しました。「宣伝すればするほど『戦争法案に反対』という声が増えている。各地のとりくみを聞いて、この声が安倍政権を追い詰める力になっていると思った」と言います。

▲全体会の「運動の交流」で発言する大阪の栄さん

大阪市の問題だけでなく、

（2面につづく）

発行所
日本民主青年同盟中央委員会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-2
電話(03)5772-5701　FAX(03)-5772-5702

日本民主青年同盟中央機関紙

定価（税込み）月680円　〒130円　1部340円
郵便振替00180-4-106690